

ワクチンスクエア

## Vaccine Square

VOL.

2

MAY  
2025

第2回

## 带状疱疹ワクチンの 定期接種が実現 その背景と目的とは？

監修：愛知医科大学 皮膚科学講座  
教授 渡辺 大輔 先生

2025年度（令和7年度）版  
带状疱疹ワクチン定期接種対象者の早見表

### 今号のPOINT

- ・2025年4月から原則65歳の高齢者を対象に带状疱疹ワクチンの定期接種が開始されました。
- ・带状疱疹は、年々患者数が増えています。80歳までに3人に1人が带状疱疹を経験すると推定され、罹患者数は70歳代がピークとなっています。
- ・带状疱疹の代表的な合併症である带状疱疹後神経痛（PHN）は、数か月から数年にわたって痛みが持続するため、ワクチンによる带状疱疹の予防が重要です。

# 带状疱疹ワクチンの定期接種が実現 その背景と目的とは？



監修

渡辺 大輔先生

愛知医科大学  
皮膚科学講座 教授



2025年4月から带状疱疹ワクチンの定期接種が開始されました。水痘・带状疱疹ウイルスの再活性化によって引き起こされる带状疱疹は、年々患者数が増えています。また带状疱疹の代表的な合併症である带状疱疹後神経痛(PHN)は、数か月から数年にわたって痛みが持続するため、QOL(生活の質)が低下することが指摘されています。

ワクチンの定期接種化にあたっては、対象者を接種につなげられるような取り組みが重要です。

## 带状疱疹ワクチン定期接種化の概要

2025年1月に開催された厚生科学審議会の予防接種に関する専門家部会で、带状疱疹を予防接種法上のB類疾病として位置づけ、带状疱疹ワクチンを法に基づく定期接種として実施することが了承されました<sup>1)</sup>。これにより、带状疱疹は季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症、

高齢者の肺炎球菌感染症と同様に、ワクチンの接種費用の一部が公費で負担されるようになりました。

定期接種は、2025年4月1日より、原則として65歳の高齢者を対象に開始されました。他には、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害を持つ60歳以上65歳未満の方、65歳を超える方のうち特定の年齢の方(5年間の経過措置を設定)も定期接種の対象とされています(表1)。

定期接種に使用されるワクチンは、複数の選択肢を確保する観点などから、乾燥弱毒生水痘ワクチンまたは乾燥組換え带状疱疹ワクチンのいずれかとされています(表1)。

表1

### 带状疱疹ワクチンの定期接種対象者と使用されるワクチン



#### 定期接種の対象者

- 年度内に65歳を迎える方
- 60～64歳で対象となる方<sup>※1</sup>
- 2025～2029年度までの5年間の経過措置として、その年度内に70、75、80、85、90、95、100歳<sup>※2</sup>となる方

※1 ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方  
※2 100歳以上の方については、2025年度に限り全員対象となります

#### 使用するワクチン

- 以下のいずれか
- 乾燥弱毒生水痘ワクチン<sup>※3</sup>
  - 乾燥組換え带状疱疹ワクチン

※3 病氣や治療によって、免疫が低下している方は接種できません。

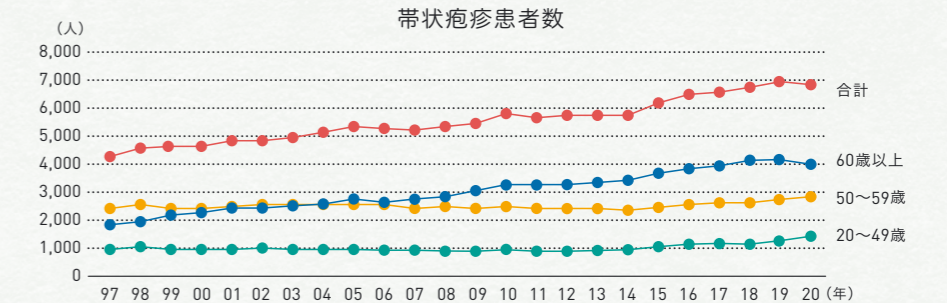
文献1より作表

## 80歳までに3人に1人が 带状疱疹を罹患

带状疱疹は水痘・带状疱疹ウイルスの再活性化で引き起こされる皮膚疾患で、体の片側に痛みを伴う皮疹が帯状に現れることが特徴です。水痘・带状疱疹ウイルスは、初感染後生涯にわたって知覚神経節や脳神経節に潜伏感染することが知ら

図1

### 宮崎県における带状疱疹患者数の推移



試験概要：宮崎県皮膚科医会、宮崎県衛生環境研究所、宮崎県政からの带状疱疹患者データや患者数、性別・年齢の分布をもとに、1997年から2020年までの带状疱疹患者数や発現率の推移をまとめた。

文献3より作図

## QOLに大きく影響する 带状疱疹

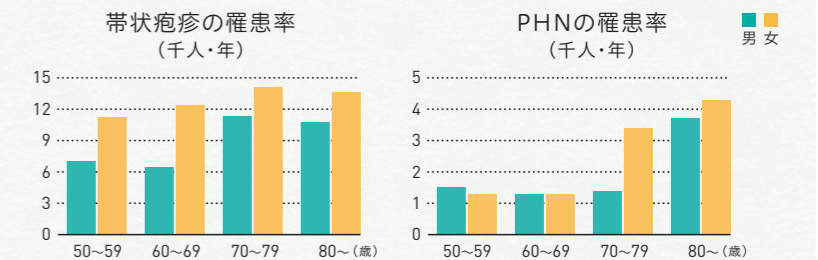
带状疱疹の罹患率は50歳代から増加し、70歳代がピークとなっています(図2)。带状疱疹の皮疹が治るまではだいたい1か月ほどかかりますが、人によっては皮疹が消えたあとも数か月から数年にわたって痛みが残ることがあります。これを带状疱疹後神経痛(postherpetic neuralgia:PHN)といい、帯状

疱疹患者の1割から5割に現れるとされる代表的な合併症です<sup>2)</sup>。带状疱疹後神経痛(PHN)では加齢が重要なリスク因子であり、強い痛みによる睡眠や日常生活の障害から、高齢者のQOLを大きく損なうと考えられます<sup>2)</sup>。

今後社会の高齢化が進めば、带状疱疹になる方はさらに増えると予想されます。健康寿命の延伸や、医療費抑制などの観点から、带状疱疹の発症や重症化を防ぐことは重要です。患者様に対して、带状疱疹は強い痛みや長期間にわたる合併症を引き起こす可能性があるため、带状疱疹の発症自体を防ぐためにワクチン接種をすることをご紹介します。

図2

### 日本人の带状疱疹および带状疱疹後神経痛(PHN)の性別、年齢別罹患率



試験概要：2008年12月から2009年11月にかけて登録した香川県小豆郡の50歳以上の住民12,522例を、3年間にわたって前向きに観察し、带状疱疹およびPHNの罹患率を調査した。

Takao Y, et al.: J Epidemiol 2015; 25(10): 617-25. より作図



# 2025年度(令和7年度)版 带状疱疹ワクチン定期接種対象者の早見表

年度内にこれらの年齢を迎える方は定期接種の対象です。

65歳	1960年(昭和35年)4月2日生～1961年(昭和36年)4月1日生
70歳	1955年(昭和30年)4月2日生～1956年(昭和31年)4月1日生
75歳	1950年(昭和25年)4月2日生～1951年(昭和26年)4月1日生
80歳	1945年(昭和20年)4月2日生～1946年(昭和21年)4月1日生
85歳	1940年(昭和15年)4月2日生～1941年(昭和16年)4月1日生
90歳	1935年(昭和10年)4月2日生～1936年(昭和11年)4月1日生
95歳	1930年(昭和5年)4月2日生～1931年(昭和6年)4月1日生
100歳	1925年(大正14年)4月2日生～1926年(大正15年)4月1日生
101歳以上	1925年(大正14年)4月1日以前に生まれた方

※60歳以上65歳未満の方であって、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方も定期接種が可能です。  
※2025年度(令和7年度)～2029年度(令和11年度)の5年間は、経過措置のため対象者は5歳刻みとなり、2030年度(令和12年度)以降は、接種日時時点で65歳の方が対象になります。  
※101歳以上の方が定期接種対象となるのは当該年度のみです。



定期の予防接種を受ける機会は、該当する年齢となる年度の1年間のみとなります。  
該当する年度内で接種機会を逃してしまうと、定期接種では受けられません。  
接種忘れがないかご確認ください。

## 注意事項

- 過去に带状疱疹ワクチンの接種をしたことがある方は定期予防接種の対象外となりますが、「予防接種を行う必要」があると、医師が判断し、市町村長が認めた場合には対象者になる可能性もあります。
- 定期接種の対象者がすでに一部の接種を任意接種として行った場合は、残りの接種を定期接種として扱います。
- 過去に带状疱疹にかかったことがある方も定期接種の対象となります。
- 带状疱疹ワクチンの交互接種(2種類の異なるワクチンを組み合わせて接種すること)はできません。
- 生ワクチンの接種を希望される場合、病気や治療によって免疫が低下している方は接種できません。

詳細は自治体窓口までお問い合わせください